

## 森林の持つ大切な役割！

- **生物多様性保全** 森林は樹木などの植物や様々な生き物の生息・生育の場となるなど、生態系や生物種等を保全
- **地球環境保全** 森林は地球温暖化の原因となっているCO<sub>2</sub>の吸収・蓄積、酸素の供給、蒸発散作用により地球環境を調節
- **土砂災害防止/土壌保全** 樹木等が地面を覆い、根が土壌を押さえ雨による土壌の流出や土砂崩等を防止し、また、落葉等が土壌に養分を供給して川から海へと栄養を供給
- **水源涵養** 森林土壌は雨水を地中に浸透させ、河川へ流れ込む水量を調整して洪水を緩和するとともに、ろ過により水質を浄化
- **物質生産** 木材の原料、山菜キノコなどの食料、薪や木炭といった燃料などを供給
- **文化、保健・レクリエーション** 森林は、キャンプや山登り・ハイキングなど、休養・レクリエーションの場を提供し、また、私たちの様々な文化とも深く関係



## 伝統野菜「焼畑あつみかぶ」栽培で再生林へつなぐ循環利用



焼畑栽培は、元来行われていた杉の皆伐跡地で一度限りの利用によって、無肥料・無農薬の希少価値が高いあつみかぶを栽培し、その収穫利益を再生林へ還元します。

### ＝「焼畑あつみかぶ」栽培で期待される効果＝

- 林地利用による収益の増高で林業への還元
- 焼畑で造林地拵作業の削減と初期下刈の省力化
- 皆伐・再生林で人工林の若返りによる林齢の平準化
- 無肥料・無農薬栽培によるイメージアップと他との差別化
- 焼畑伝統栽培技術の継承とあつみブランドの確立
- 雇用の創出、山村地域の維持・活性化

### ＝ 温海町森林組合が取組む「使う林業」＝

本組合は、木材生産の機械化を進め、森林所有者と合意形成を図り、間伐等の施業効率を高める「提案型集約化施業」を実施して生産量の増大とともに、利益還元を実現し収益性の高い森林整備に取り組んでいます。さらに、2016年から施業に皆伐を提案し、皆伐→焼畑→再生林のサイクルを確立して森林保全と循環する森づくりを目指しています。

## 持続可能な森づくりを目指して！

温海地域は、約 8,100ha の人工林を有していますが、8割以上が主伐適齢期の 50 年生以上と偏った林齢構成にあり、主伐と再生林に取組まなければ今後生産量の減少や森林機能の低下などが心配されます。

そこで、温海町森林組合が森林所有者から杉の伐採跡地を借り入れ、400 年前から地域で続く焼畑農法による伝統野菜の栽培に活用し、その利益を再生林や保育に還元して人工林の若返りを進めています。

(※主伐:同じ林層区画の全立木の収穫を目的とした伐採)